

# EDGE-SLIT

## エッジスリット

フロート合わせガラスの小口に斜面取り加工を施し、  
小口加工部と構造体を機械的に接合する構法（ESG構法）です。



大手町フィナンシャルシティ（東京都千代田区）  
設計：株式会社三菱地所設計 様

小口に斜面取り加工を施したフロート板ガラスで構成した合わせガラスに嵌めさせたアルミ材で、フェイスガラスと構造体を機械的に接合する構法です。（特許登録済み）

アルミエッジ材は、予め工場ですべてガラスにセットします。アルミエッジ材が外部に露出しないため、完全なフラットサーフェスになります。SSG構法のような接着構法とは異なります。



### ■ ガラス

ガラス製品 **P.36**

#### 対応ガラス



#### ガラス構成

合わせ	FL8+FL12、FL10+FL15 など
複層	【FL8+FL12】+A+FL (Low-E)、 【FL8+FL12】+A+HS (Low-E)

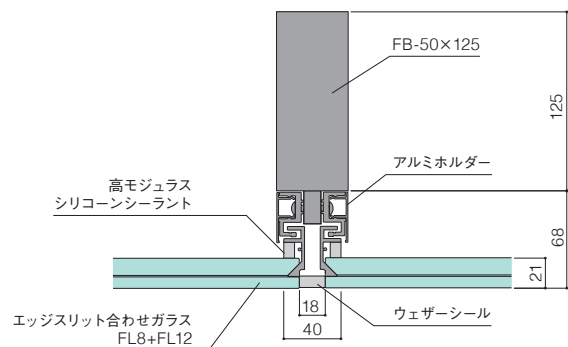
※ガラス構成は、設計条件、ガラスサイズに応じて構造計算により決定します。ガラスは、正・負圧とも四辺支持として計算できます。

#### スリット辺加工可能寸法

最小	非スリット辺 200mm
最大	2800×6000（スリット加工辺）mm

※上記寸法を超える場合は、ご相談ください。

### ■ 納まり参考例



※参考図の検討条件はP=2400N/m<sup>2</sup>、GH=5000mm、GW=1500mmです。